

交通及び地域の現状とその対応

当該地域の交通特性

- 千葉県は渋滞による損失時間が**全国ワースト7位**、道路1kmあたりの渋滞損失時間は**全国平均の約2倍**
- 中でも東葛地域を含む県北西部で県全体の**約7割**の渋滞が集中
- 国道16号は1日**約6万台**の交通量
- 地域内に起終点を持つ交通のうち、地域内々交通が**約5割**、地域内外交通が**約5割**で**同程度**存在
- 国道16号柏IC付近を通過する交通を整理すると次ぎのとおり
 - 地域内の交通が**約3割**、地域内外の交通が**約4割**存在
 - 地域を通過する交通が**約3割**存在(地域内とは野田、柏、我孫子、印西、白井、八千代の関係6市)
- 周辺には都市軸道路、国道356号BP、県道船橋印西線など今後、4車線以上の道路整備が予定されている路線も存在

提言によれば...

- 交通容量拡大を軸とした何らかの対策が必要
- バイパス案については、既成市街地や手賀沼を迂回する利根川沿いのルートを含め、起終点位置など様々な視点から十分に検討

今後の対応

- 交通特性や周辺状況を踏まえ、複数ルートのバイパス案を検討
- 検討に当たっては交通、環境、土地利用、社会経済、事業性等の観点からメリット、デメリットを整理

- 市民とのコミュニケーションを図りながら計画を具体化

千葉柏道路計画策定の評価項目（案）

○千葉柏道路の計画策定における評価項目と地域の課題について

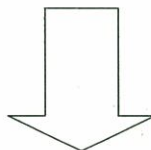
	評価項目（案）※	地域の課題
交通	時間短縮	国道6号、16号への交通が集中し渋滞が生じている。交通容量の拡大を軸とした対策が必要。
	渋滞解消	
	交通事故減少	
	広域ネットワークの形成	
	災害時における機能・安全性	
環境	歩行者自転車の移動性・安全性への影響	交通集中による沿道への騒音、振動などの問題が生じている。 また、利根川や手賀沼などの自然環境の保全も必要。
	生活環境の改善・保全	
	地球環境の保全	
	景観	
土地利用 市街地整備	自然環境への影響	交通集中により地域間の円滑な移動が阻害されている
	地域交流	
	市街地活性化への貢献度	
社会経済	沿道商業施設への影響	円滑な交通流確保
	地域活性化や都市再生への効果	
事業性	事業性の経済性	—
	事業に要する期間	
	施工の難易性による事業への影響	
	用地取得の難易度による事業への影響	

※出典：「構想段階における市民参画型道路計画プロセスのガイドライン」より

柏地区道路見える化計画

● 千葉県における課題

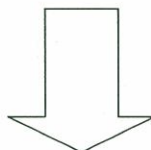
千葉県の交通渋滞による損失時間は全国ワースト7位、全国平均の約2倍となっています。
また、交通事故についても、交通事故死者数は全国ワースト3位(平成17年)であり深刻な状況です。



● 課題解消に向けて

道路の現状などを示す様々なデータから課題を「見える化」し、最適な方法で重点的に解決し、効率的な道路行政を進めてまいります。(『道路見える化計画』)

この取り組みとして、学識経験者や様々な分野の方々からご意見を伺いながら、渋滞に関する要対策箇所を21箇所、交通事故に関する要対策箇所を30箇所選定しています。



● 柏地区を先行的に実施

まずは先行的に、国道16号及び6号の柏地区において、交差点改良、バスベイ設置、歩道のバリアフリー化の実施を計画しています。

柏地区道路見える化計画

国土交通省関東地方整備局は、県北西部を中心に激しい交通渋滞を緩和させる試みを、柏市でスタートさせた。その名も「道路見える化計画」。渋滞に関する課題をデータで示すなど見える

柏市

る形にして浮かび上がらせ、短期的に解決を目指すのが狙い。柏市では、渋滞道路に路線バス専用の停車スペースや左折レーンを設け、10-20%の渋滞緩和を見込む。(高江直樹)

バスの停車スペース設置 75%の左折専用レーンも



「渋滞」時(左)の渋滞緩和策の目録
国道16号(接合交差点付近) 柏市で

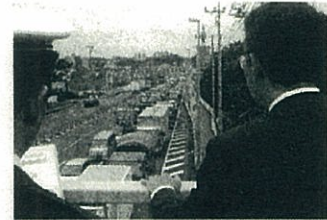
同局は、交通量の多い「東移動性向上プロジェクト」の推進の一環として、渋滞緩和策を推進している。渋滞緩和策として、バス専用レーンや左折専用レーンなどを設置し、渋滞緩和を図る。また、バス専用レーンや左折専用レーンなどを設置し、渋滞緩和を図る。

渋滞緩和計画スタート

七期が満了、東葛の都市部を走る10%の緩和策に集中している。国道6号と16号が交わる柏市の呼塚交差点付近は、一年間の渋滞損失時間が三十三万七千時間で、県内で最も渋滞が激しい地域の一つといわれる。柏市では、本年度内に16号の市立第五小前と大津ヶ丘の千葉市方面の二カ所に、バス専用の停車スペースを設置する計画がある。また、若松などのバスが停車するスペースも確保する。また、若松などのバスが停車するスペースも確保する。

■平成18年10月9日
東京新聞掲載

国道16号渋滞緩和へ



渋滞緩和策の一環として、柏市では、渋滞道路に路線バス専用の停車スペースや左折専用レーンを設け、10-20%の渋滞緩和を見込む。(高江直樹)

国道事務所が現地調査
2交差点改良
年度内に着工
柏市内

国土交通省千葉国道事務所は5日、柏地区の渋滞緩和や事故削減を目指す「柏地区道路見える化計画」を始めた。大庭孝之同事務所長、本多晃柏市長、坂口富康柏署長らが同日、国道16号と国道6号の交差点の呼塚交差点などを視察した。計画は、渋滞時間などのデータを集めて、それに基づいた解決策と結果

■平成18年10月6日
千葉日報掲載

柏地区からスタート
利用者に示し、効率的な道路行政を進めるも、特に渋滞のひどい柏地区でまず実施する。呼塚交差点では、野田から千葉方面に向かう国道16号に左折レーンを来年度に設置し、直進車を阻害する



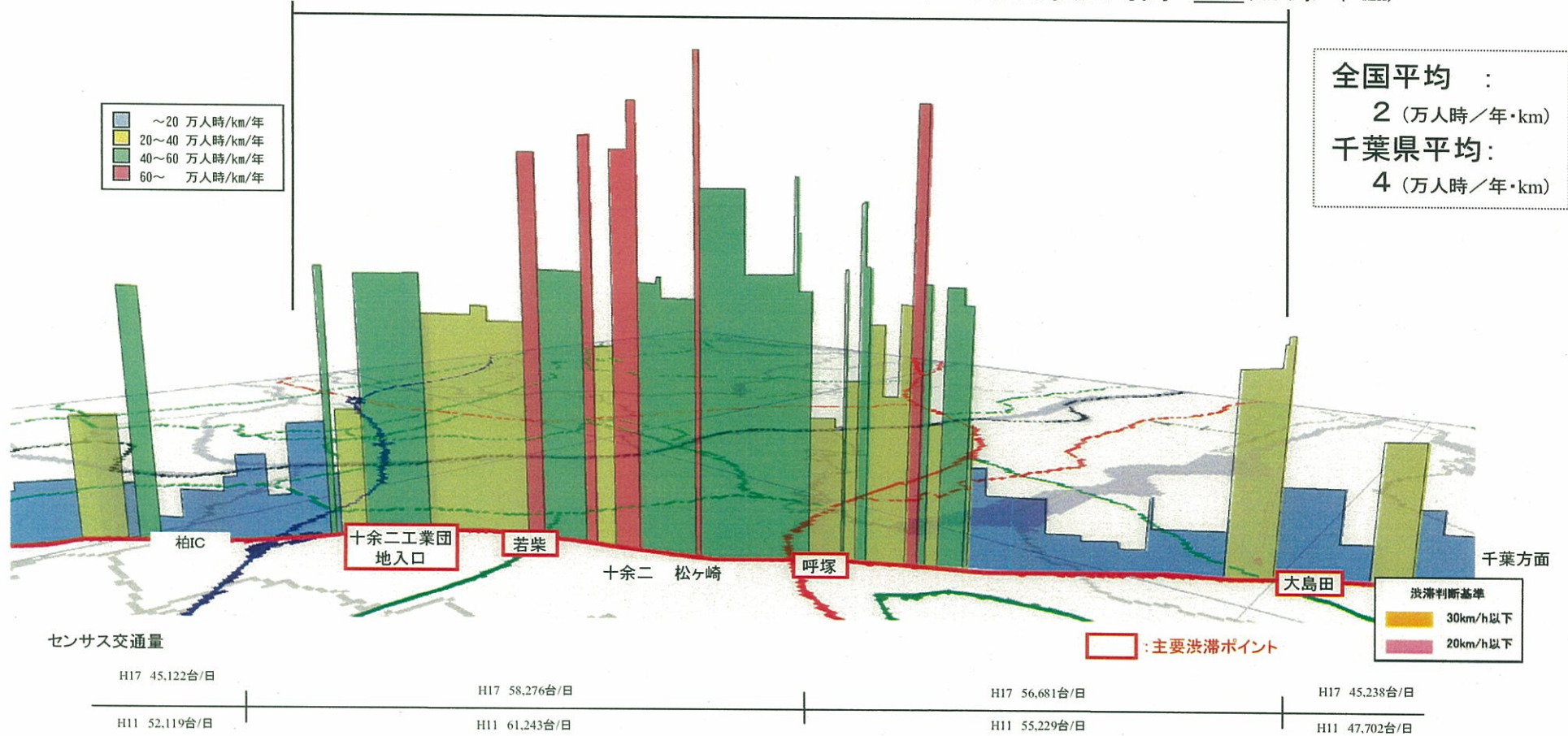
呼塚交差点の渋滞を視察する本多市長

■平成18年10月6日
毎日新聞掲載

国道16号：柏周辺の状況

移動性阻害要箇所：国道16号 柏IC～大島田

1kmあたり渋滞損失時間：**34** (万人時/年・km)



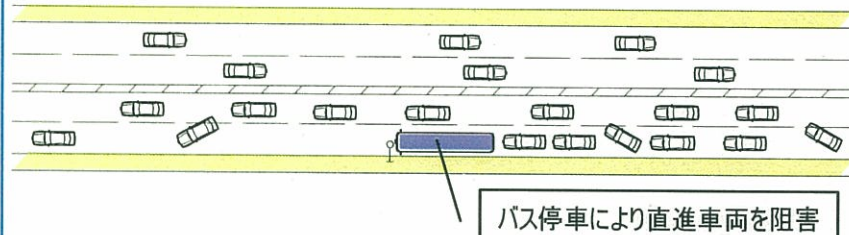
短期的な渋滞対策

短期に実施可能な現道対策（一部、平成18年度実施予定）

①バスベイの設置

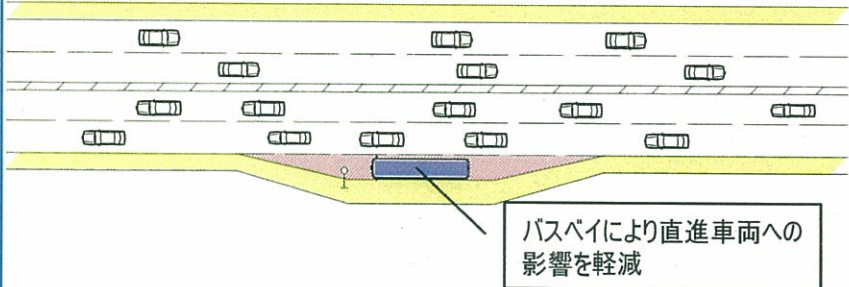
<バスベイ設置イメージ>

■現況



■バスベイ設置

・バスの停車による走行阻害を解消



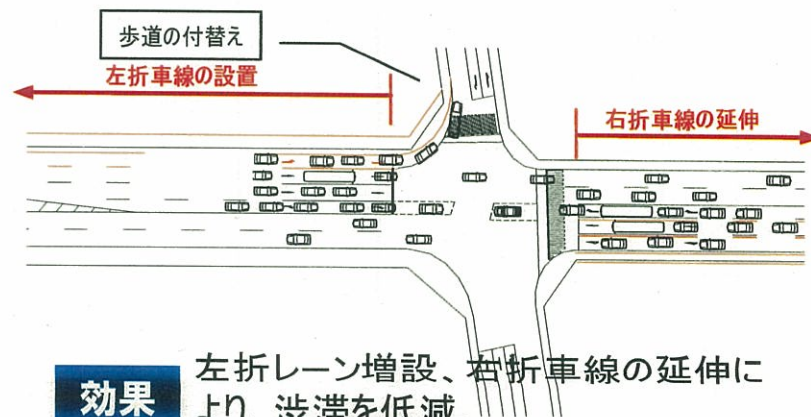
効果 バス停車による阻害が減り、スムーズに。

②左折車両を意識した交差点改良 （左折レーンの設置と車線の増加等）

<現況>



<交差点改良>



効果 左折レーン増設、右折車線の延伸により、渋滞を低減。

柏地区道路見える化計画

国道16号柏地区における短期対策

<バスベイ整備>

- バス停の状況： 若柴交差点～大島田交差点(延長7.4km)に11停留所(上下:21箇所)
- バスベイ必要箇所： 1日10便未満のバス停を除く**17箇所**でバスベイが必要(うち、5箇所は整備済み)
- 当面、道路用地内で対応可能な**2箇所**で整備を進める

バス停		①消防署前	②キャタピラ三菱前	③香取台	④須賀	⑤呼塚交差点	⑥葉山	⑦第五小学校前	⑧弥生町	⑨エリカ前	⑩新中井	⑪大津ヶ丘一
外廻り	運行回数(便/日)	4	4	4	4	---	181	168	108	108	108	108
	バスベイ整備	---	---	---	---	---		★道路用地内		★整備済		★道路用地内
内廻り	運行回数(便/日)	76	76	76	76	76	59	174	115	115	115	115
	バスベイ整備				★整備済	★整備済				★整備済		★整備済

<交差点改良>

- 主要渋滞ポイントなど**6箇所**で対策が必要
- うち、現在まで5交差点を改良済み
- 今後、**呼塚交差点の左折レーン**を設置(外廻り)

十余二工業団地入口	若柴	十余二	松ヶ崎	呼塚	大島田
右折レーン延伸 外廻り:55m→85m、 H15 内廻り:105m→130m、 H16	右折レーン延伸 外廻り:65m→90m、 H16	右折レーン延伸 内廻り:30m→77m、 H16	右折レーン延伸 内廻り:30m→44m、 H16	左折レーン設置 外廻り:0m→75m ※現在、関係機関協議中	右折レーン延伸 外廻り:(70m→75m) H16 内廻り:(65m→125m) H16